



祭りのあとは



校長 鬼武伸哉

祭りのあとは、あれほど多くの人で賑わっていたグラウンドも平静を取り戻し、あたかも何もなかったかのような顔をしています。テントが体育倉庫に格納され、生徒会スローガン「Let's challenge!! ～自分たちの色で輝こう～」の横断幕が校舎内に戻され、白線でさえ、その痕跡を見つけることが難しくなりました。子どもたちによる熱のこもった応援も、観客の声援も BGM も聞こえない朝礼台に立って辺りを見回しますと、たった数日前に、確かにそこにいたあの子どもたちの興奮した顔やまばゆい笑顔がふとよみがえっては、秋の風とともに消えていきます。しかし、子どもたちそれぞれの色の輝きは、はっきりと私の脳裏に刻まれました。

先月27日(土)に予定通り、令和7年度和木中学校体育祭を終えました。ご来賓の皆様、地域の皆様、そして保護者の皆様、本校体育祭をご観覧いただき、誠にありがとうございました。おかげをもちまして、子どもたちは最後のプログラムまで、全力で競技や演技をすることができたと心より感謝しております。

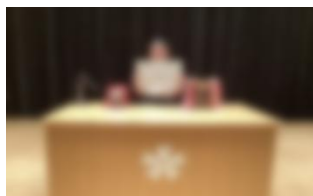
体育祭を振り返りますと、まず、「準備体操」の模範演技を担当する生徒と彼女を見つめる何人かの生徒が演技前に微笑みあっていた場面がとても印象に残っています。模範演技者や本部テント前で演技する生徒会役員はグラウンドで対面する生徒たちとは逆の(つまり見た目には同じ)動きをすることが求められます。体育祭予行でも、慣れ親しんだ動きと逆の動きで演じることに戸惑いを覚えていた彼女の心を映し出すかのような笑顔とそれに応えて彼女を温かく見守る笑顔。そこには思春期の心の葛藤を感じさせるようなやさしさは微塵も感じられませんでした。これまで知覚してきた笑顔によるコミュニケーションの中でも最上位に入るメッセージの交換でした。ある教員は体育祭で最も感動した場面を、徒競走の後、互いの走りをたたえあって肩を組んだ生徒の姿だと言いました。素直に友情を確かめ合う二人の姿が強く心に残っているそうです。

学年種目や生徒会が企画した団体種目は、いずれも生徒同士の絆を深くするものでした。まもなく閉幕を迎える「大阪・関西万博」の公式キャラクター「ミャクミャク」に着目し、体育祭ではあまり目にするのがないパズルの完成を競技に取り入れた1年生、台風の目の流れから、猫バスで麦わら帽子をかぶっためいちゃんを早くゴールに届けることに力を注いだ2年生、花束をバトンにして、出産から就職までをリレーでつなぎ、将来の夢に向かって疾走した3年生。どの種目でも、ほのぼのとした幸せな気分になることができました。和木小学校からお借りした紅白の大玉を使った全校種目は、生徒会スローガンにちなみ、生徒全員でできる挑戦としてプログラムに入りました。いずれも、争うより繋がるイメージが前面に出る種目で、もちろん競技者は本気で競いながらも、数々の屈託のない笑顔が自然にあふれる体育祭になった要因だと思います。

徒競走やリレーでは、子どもたちの走りでお世話をやいた場面が何度もありました。力を出し切って、ゴールテープに向かう姿はどんな世代の観戦者にも、感動をもたらします。教員チームのアンカーとしてラスト10mを走り切った私の笑顔の写真をお見せできないことが残念です。子どもたちの走りからはもちろんのこと、若手の先生方の勢いのある走りに勇気とエネルギーをもらった方もいらっしゃるのではないでしょうか。

応援合戦と全校ダンスは、夏休み前からリーダーを決め、酷暑の中、休み中も出校を重ねながらよりよい演技にしようという子どもたちの思いが詰まったプログラムです。紆余曲折を経て、本番で最高の演技を見ることができました。特に応援合戦については、勝敗が全く見当のつかないレベルの接戦だったと思います。全校ダンスについても、「ようかい体操第一」を選んだリーダーたちの判断に心から拍手を送りたいと思います。全校生徒があれほど生き生きと童心に返ってダンスを楽しめる楽曲は他にあまりないのではないかと思います。応援合戦と全校ダンス、どちらも子どもたちの自信にあふれた演技に思わず、見とれてしまいました。

体育祭の準備中に、私がしている作業を見て、「手伝いましょう」、「かわりに私たちがします」という声かけがたくさんありました。閉会式後の後片付けの後、解散が告げられても、自主的に残りの作業を手伝う生徒がたくさんいました。強制されない業務を率先して補おうという姿勢にただ、「ありがとう」という思いが口をついて出てきます。体育祭全般を通して感じたこうした繋がりのある「集団意識」がどこでも実感できるといいなと心から思います。祭りのあとは、その余韻にずっと浸っていたいと思えることが最幸です。



英語暗唱・弁論大会 第7地区予選会

暗唱の部で、2年女子、第1位！

9月4日（木）に、岩国市民文化会館で開催された上記大会で本校2年生の さんは、16人が出場した暗唱の部で、見事に第1位を獲得しました。 さんは、明日10月2日（木）、山口市の県教育会館で実施される「令和7年度山口県中学校英語暗唱・弁論大会」に出場します。さらなる活躍を期待しています。

岩国地区中学校新人体育大会 軟式野球部（東・岩国・和木）優勝！

男女バスケットボール部3位！ソフトテニス部2年生男子ペア 祝県体出場！！

9月20日（土）から21日（日）にかけて、岩国地区新人体育大会が開催されました。1、2年生が主力となって岩国・和木地区で勝敗を競う初めての公式戦です。どの部活動も、週に3日しかない練習時間の中、その成果を精一杯発揮して、善戦しました。今年度は、地区を代表して、県の新人体育大会に出場するのは、軟式野球部、男子バスケットボール部、女子バスケットボール部、そしてソフトテニス部でベスト16に入り、決定戦で勝利を収めた2年生男子ペアです。団体種目の3つと個人戦に出場する選手は、10月11日（土）、12日（日）（軟式野球、ソフトテニスについては14日（火）予備日）にかけて県内各地で行われる山口県新人体育大会に出場します。クラブチームに所属し県大会に出場する選手も、残念ながら県新人体育大会に出場することができなかった選手の皆さんも、条件に制約がある中、ともに汗を流している仲間と協力しながら持てる力を出し切って戦いきったことと思います。そうした選手の皆さんに、大きな拍手を送りたいと思います。試合の結果は、次のとおりです。

【ソフトテニス】

団体戦トーナメント：1回戦：対灘中 1－2 敗退

個人戦：2年生男子ペア ベスト16

順位決定戦で第12位 県体出場

2年生男子ペア ベスト16

順位決定戦で惜敗



【卓球】

団体戦トーナメント：対岩国中 0－3 敗退

個人戦：1、2回戦 敗退

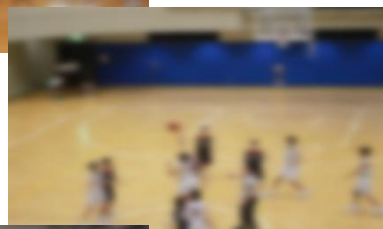


【男子バスケットボール】

トーナメント：対東中学校 45－34 勝ち

準決勝：対岩国中 37－63 負け

3位決定戦：対麻里布中 52－19 勝ち 第3位

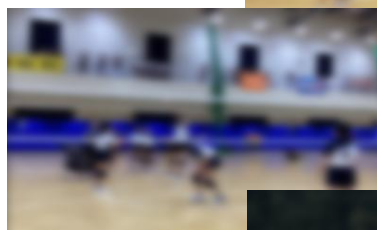


【女子バスケットボール】

トーナメント1回戦：対由宇中 44－19 勝ち

準決勝：対平田中 17－60 負け

3位決定戦：対灘中 47－19 勝ち 第3位



【バレーボール】

トーナメント：対岩国 VC 0－2 敗退

【野球】東中、岩国中との合同チームで出場

トーナメント1回戦：対麻里布中 12－3 勝ち

準決勝：対美和中 13－0 勝ち

決勝：対灘中 1－0 優勝

